

巢鴨の散歩道

松浦 俊博

昨年の夏から、毎朝六時過ぎに自宅付近を小一時間散歩している。自宅マンション前の白山通りは、平川門から千石駅前を経由して西巢鴨までの道路の通称であり、都営三田線がその下を通る。この道路に沿って南東方向に山手線の内側に向かって歩く。道路を挟んで右側にとげぬき地蔵があり、その向こうには旧中山道の一部が残っており、地蔵通りと呼ばれている。

巢鴨駅を過ぎて緩やかな下り坂を少し歩き、信号で北東方向に曲がる。この道は巢鴨のある豊島区と学校の多い文京区の境界に位置し、両脇には閑静な住宅が並ぶ。1kmほど歩くと本郷通りに通じる。道の北側は豊島区で南側は文京区ならば明瞭なのだが、北側に文京学院の女子校があり、その付近は文京区本駒込となる。

道路の南側に六義園がある。赤レンガを積み上げた高い塀に沿って四百mほど歩く。散歩道の中で一番気持ちいい場所だ。背の高い木々が歩道側に枝を延ばして緑の庇を作っている。森を歩いているようだ。夏には頭上から蝉しぐれを浴びるが、秋にはいたるところから「ツイーツイー」「キョキョ」と、おしゃべりな小鳥たちのさえずりに包まれる。六義園の角の染井門まで進むと本郷通りに至る。

左折して本郷通りを北に進むと駒込橋を越えて山手線の外側に出る。地下鉄駒込駅の近くで天海祐希あまみゆうきに似たすらっとした麗人と行き交うことがある。すれ違う時にさわやかな香りがして快い。俗事を振り払い無心に坂を下る。

本郷通りから西に曲がり、住宅街を通過して自宅に向かう。この辺りは染井と言って、江戸時代には「ソメイヨシノ」を誕生させた植木職人が住んでいた。突き当りの染井墓地に入り、左手に俳人水原秋櫻子の墓を見てまっすぐに進むと慈眼寺に突き当たる。ここに芥川龍之介一家の墓がある。さらに進むと遠山の金さんの墓がある本妙寺山門に出る。

健康維持のための朝の散歩基本コースが定着した。これだけでは足腰が衰えるので、昼間に六義園内散歩を追加したいと思っている。

